

大人のための天文・科学教室
開園15周年&法月惣次郎生誕100年 記念企画

日本の電波望遠鏡の進化

— 焼津のパラボラ技術からアルマ望遠鏡まで —

今年焼津が生んだ望遠鏡づくりのパイオニア 法月惣次郎氏 (1912-1995) 生誕 100 年にあたります。当館ではこれを記念し、法月さんのパラボラアンテナから始まった電波望遠鏡の進化の歴史を、電波天文学の専門家で南米チリ・アタカマ高地にあるアルマ望遠鏡建設において日本の代表としてご活躍された国立天文台名誉教授の石黒正人先生にお話ししていただきます。



南米チリの標高約 5000m のアタカマ高地にあるアルマ望遠鏡

©国立天文台

日時: 平成 24 年 10 月 7 日(日) 14:00~15:30

場所: ディスカバリーパーク焼津・天文科学館 2階会議室

講師: 石黒 正人 氏 (国立天文台名誉教授)

対象: 16 歳以上 / **定員:** 50 人 (要事前申込・先着順)

料金: 無料

申込: 電話または当館窓口にてお申し込みください。

(9月8日(土)より受付開始)

問い合わせ: ディスカバリーパーク焼津・天文科学館 (Tel. 054-625-0800)

参加者と専門家が コミュニケーションを とりながら最新天文学を学ぶ!

今回の教室では、通常の講演会と異なり、講師の先生との距離が近いことからコミュニケーションがとり易く親しみを持って学べる場となります。

専門家と参加者がコミュニケーションをとりながら最新の天文学を学べるイベントです。

「日本の電波望遠鏡の進化 ー焼津のパラボラ技術からアルマ望遠鏡までー」

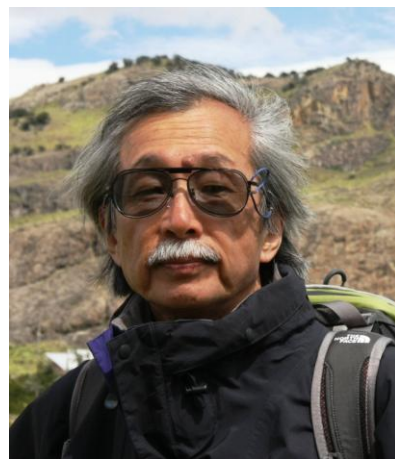
今年は焼津市出身の望遠鏡製作者・法月惣次郎氏(1912-1995)の生誕 100 年にあたります。法月さんは日本で初めて赤道儀式パラボラアンテナを製作し、生涯で 300 台以上の電波望遠鏡を造りました。その高い技術は世界から「日本に電波望遠鏡製作の秘密基地がある」といわれるほどでした。今回の教室では、法月さんの電波望遠鏡の多くが設置された名古屋大学空電研究所で、当時法月さんと関わりのあり、今話題のアルマ望遠鏡の建設に尽力された国立天文台名誉教授の石黒正人先生をお招きし、日本の電波望遠鏡の進化についてお話を伺います。

- 日 時 平成24年10月7日(日) 14時から15時30分
- 場 所 ディスカバリーパーク焼津・天文科学館・2階会議室
- 対 象 16歳以上
- 定 員 50人(事前申し込み・先着順)
- 申込み 9月8日(土)より電話または窓口にて先着順で受け付けます。
- 料 金 無料(ただし事前申し込みが必要です)

■講 師 いしくろ まさと
石黒 正人氏(国立天文台名誉教授)

1970年から名古屋大学空電研究所にて、太陽電波の研究に従事後、1980年に東大東京天文台(現・国立天文台)に移る。

野辺山宇宙電波観測所の創設に参加し、ミリ波干渉計のリーダーとして、装置の建設や共同利用運用に貢献した。その後、国際共同プロジェクトであるALMA(アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計)に初期の構想段階から携わり、日本側プロジェクトリーダーとして、計画の構築、サイト調査、予算獲得、国際交渉など計画全般にわたる推進役を務めた。1988年から2009年まで国立天文台教授、現在は国立天文台名誉教授。



【問い合わせ】

ディスカバリーパーク焼津・天文科学館

〒425-0052 静岡県焼津市田尻2968-1

(電話) 054-625-0800 (ホムペ) <http://www.discoverypark.jp>